

■ ■ ■ 目 次 ■ ■ ■

はじめに

第1章 地域福祉活動計画とは…	1
1. 誰もが安心して暮らせるまちづくりのために	2
2. 北茨城市はこんなまち	4
3. 行政（市役所）の計画との関わり	7
4. 活動計画の期間	8
5. みんなで取り組む計画	8
第2章 わたしたちのまち北茨城～変わりつつある暮らしと地域	9
1. 北茨城市の現状と課題	11
(1) 変わりつつある北茨城と「新たな結」づくり	11
(2) 計画策定の経過	11
(3) 住民懇談会での市民の声をまとめると…	13
2. これからのわたしたちの進むべき道は	15
第3章 計画の基本的な考え方	17
1. 基本理念	18
2. 計画の体系図	19



第4章 基本計画への取り組み	21
基本目標1 みんなが主人公になれるまちづくり	22
基本計画 感謝と思いやりの心を育てよう	23
基本目標2 みんなとともにいきるまちづくり	25
基本計画 地域の人々とつながろう	26
基本目標3 みんなが安心して暮らせるまちづくり	28
基本計画 みんなで見守ろう	29
基本目標4 みんながつくるまちづくり	32
基本計画 人にやさしいまちづくりをしよう	33
資料編	35
1. 地域福祉活動計画策定に関するアンケート調査	36
2. 住民懇談会で出された地域の課題と取り組み案	42
3. 北茨城市地域福祉活動計画策定委員会設置規程	53
4. 北茨城市地域福祉活動計画策定委員会委員名簿	54



先生と生徒
明徳小学校5年
鈴木 千尋さん

「北茨城市地域福祉活動計画」の策定にあたり、本会がふくし「やさしさ・ふれあい・ささえあい等」をテーマに募集し、ご応募いただいた写真・絵画・標語を掲載しています。

学校名・学年については、応募当時のものとなっています。

表紙の絵：絵画の部において最優秀賞に輝いた、中郷中学校の川合南菜子さんの作品です。

第1章

地域福祉活動計画とは…



～おとしよりの荷物を持つ少女～
中郷第一小学校5年 館 ひな乃さん



1 誰もが安心して暮らせるまちづくりのために

あなたは、いま幸せですか？

そう聞かれたとき、何の迷いもなく「幸せです。」と答えられる人は何人いるでしょうか。人は誰でも、少なからず自分の健康や生活などについて悩みや不安を抱えて生きています。

自分ひとりで解決できにくいものであり、その解決のためには、誰かの協力が必要となる場合が多くあります。

人と人とが協力しあい、助けあっていくことによって私たちははじめて安心した豊かな暮らしを送ることができます。

この助けあいや支えあいを私たちの暮らす身近な地域のなかで創り、そして育み、あたたかい関係を築いていくことが今求められています。

そのためには、私たちみんなが自分でできることを考え、一つずつ、少しずつ着実に取り組んでいくことが必要となります。

この計画は、市民の取り組み（活動）を進めるための「道しるべ」となります。この活動の輪がひろがっていくことが「誰もが安心して暮らせるまちづくり」への第一歩となっていくのです。



～温もり～
磯原中学校2年 鈴木 美穂さん



～とっぴあげるよ～
明徳小学校5年 酒井 さやかさん

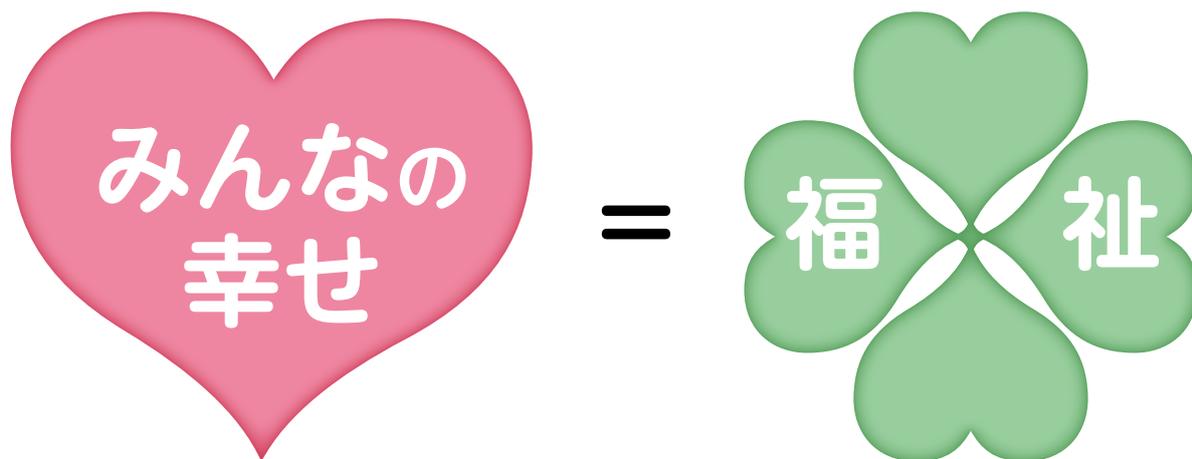
❖福祉って、な～に？

みなさんは、「福祉」という言葉からどんなことをイメージしますか。

「行政が障がい^{注1}のある方や高齢者などに対して行うサービス」という内容のことを連想するのではないのでしょうか。

実は、「福祉」の「福」も「祉」も、「幸せ」という意味の言葉です。

福祉って「みんなの幸せ」の実現のことなのです。



❖地域福祉って、な～に？

「福祉」が「みんなの幸せ」の実現であり、「地域福祉」は、「地域で、地域の力で、みんなの幸せの実現」ということです。

地域に暮らす子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も地域みんなが、その人らしい心豊かな人生が送れるよう、誰もが幸せに暮らすことができるまちづくりを目指すことです。

❖どんな計画？

地域福祉活動計画とは、地域福祉のために活動する力を一つにまとめて、誰もが安心して暮らしていく市民のための計画です。

計画づくりから活動の実行まで、市民の参加があつて、はじめて目的を果たすことができます。

^{注1} 「障がい」の表記について

本計画では、障害の「害」という漢字のイメージが否定的であるため、不快感を与えないように配慮して、法律、団体名、固有名詞等を除き、「障がい」という表記にしています。



2 北茨城市はこんなまち

～北茨城市の位置～

北茨城市は、茨城県の最北東に位置し、首都東京から東北に約180kmの地点にあり、東西約24km、南北約22km、その総面積は186.55km²となっています。

市の東部は太平洋に面し、北西部に標高882mの栄蔵室を有し、いわゆる海と山に囲まれた自然豊かな風光明媚な土地で、気候も穏やかであり、安心して暮らせる環境であるといえます。



～北茨城市の沿革～

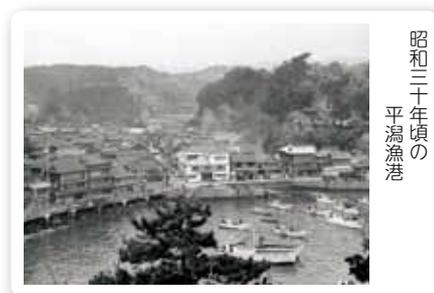
北茨城のはじまりは、明治22年（1889年）の町村制の施行により、当時35ヶ所の村がそれぞれにまとまり、南中郷村、北中郷村、華川村、関南村、関本村、大津町、平潟町の2町5ヶ村となり、その後北中郷村が磯原町と改称し、今の北茨城市の原形がつけられました。

さらに、昭和28年（1953年）に町村合併促進法が施行されると、昭和30年（1955年）に磯原町と華川村が合併して新生磯原町となりました。翌昭和31年（1956年）3月31日には6ヶ町村が合併し、茨城県下15番目の市として北茨城市が誕生し、平成18年（2006年）には市制施行50周年を迎えました。

合併当時の北茨城市は、石炭関連産業、漁業、農業など地域によってさまざまな特色のある産業をもった町で形成されていました。

大人も子どもも生活の拠点である地域のなかで、自然や文化、歴史を感じながらともに生き、衣食住がまかなえていました。

しかし、中心的な産業だった炭鉱の閉山や産業構造の変化などによって、人々の生活圏は徐々にひろがり豊かになりましたが、物質的な豊かさと反比例するかのよう、自分が住んでいる地域への関心は薄れてしまったのではないのでしょうか。



～子どもや孫に残したい私たちの財産

ふるさとへの想いをつなぐ～

北茨城市に限らず、日本全体が貧しかった時代、人々はともに支えあわなければ生きていくことができませんでした。

貧しくモノがなかった時、人々は誰でも自分の暮らす地域のなかで、それぞれに役割をもち支えあって生きていました。悪さをした近所のガキ大将しかを叱る怖いじいちゃんや、庭にある柿の木から柿をとってくれた優しいばあちゃん、そして自分でつくった晩ご飯のおかずを毎日のように届けてくれる世話好きなおばちゃんがいたように、地域全体が大きなひとつの家族として「つながり」をごく当たり前のものとして生活していました。

時代が変わり、人々は豊かになり、そのなかで「ともに支えあうこと」、地域でのつながりや助けあいの気持ちを少しずつ忘れていったように思います。しかし、多くの市民はともに支えあうことを必要と考え、地域で互いに協力できる関係を望んでいることは、実施したアンケート（38～43ページ参照）からもうかがえます。

このことは、地域でのつながりが薄れていくなかであっても、古くからの「お互いさま」や「自分でもできることがあれば…」などの他人を思いやる優しい「心」が地域のなかで確実に息づいている「証し」といえます。

この市民の「想い」は、地域で暮らす人々の最も身近な支えとして今を生きる人々の心に宿り、誰もが安心して暮らしていくための「よりどころ」となっています。それは、長い歴史のなかで多くの人々を魅了してきた美しいこの北茨城市の風景とともに、私たち市民が後世に残していかななくてはならない大きな財産であるといえます。





3 行政（市役所）の計画との関わり

地域福祉活動計画は、みんなの幸せの実現のためにあります。

市民が主役となり活動を進めることによって、お互いに支えあいながら誰でも安心して暮らせるまちづくりのための計画です。

また、北茨城市の策定した**地域福祉計画**も同じように、ともに支えあい、助けあうことのできる「ぬくもりのあるまちづくり」を目指した行政計画です。

この2つの計画は、ともに「地域福祉」を進めていくための**車の両輪**として、お互いに補完、強化しあう、「ふくしのまちづくり計画」となっています。

みんなの幸せの実現



地域福祉活動計画

地域住民の主体的な活動



地域福祉計画(行政計画)

行政施策として行うべきもの



地域住民と
行政の相互協力

車の両輪





4 活動計画の期間

この計画は、平成23年度から平成26年度までの4ヶ年を計画期間としています。
 毎年、市民みんなで計画の進み具合について話しあいながら活動していきます。また、平成27年度からの計画では、さらに市民の意見が反映されるようにしていきます。

【スケジュール表】

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度



5 みんなで取り組む計画

この計画に基づく活動については、「取り組み委員会（仮称）」を設け、定期的に活動状況を把握し、7つの社協支部を中心に、数回の「住民懇談会」等を開催して進み具合や効果について話しあいます。

また、みんなが活動を進めるなかで生じる問題などの相談に応じ、解決への助言なども行います。

第2章

わたしたちのまち北茨城

—変わりつつある暮らしと地域—



～お年寄りをいたわろう～

中妻小学校6年 滑川 菜奈さん

ふくし標語

だれでもが等しく暮らせる大きな輪

磯原町 湯田 美律子さん

平等に互いに得るべき福祉の輪

磯原町 湯田 孝子さん

地域からほとぼしり出る助け合い

磯原町 湯田 善八さん





1 北茨城市の現状と課題

(1) 変わりつつある北茨城と「新たな結」づくり

かつての日本には、「結」がありました。

「結」とは、主に小さな集落や自治単位における共同作業の制度のことです。

一人で行うには多くの費用と期間、そして労力が必要な作業を、集落の住民総出で助けあい、協力しあう相互扶助精神で成り立っています。

北茨城市が誕生した昭和30年代、市民の心には「結」の精神があふれていました。

モノがあまりない時代、市民の暮らしは決して楽ではありませんでしたが、地域という大きな家族に支えられて、みんなが安心して暮らせていたのです。

しかし、一人ひとりの生活環境は変わり、徐々に「結」の精神は薄れていってしまいました。

今回実施したアンケートの結果は市民の多くが「お互いに協力したり、関わりあえる地域」を理想的な地域と考えており、私たちはまず、「近所づきあい」からはじめて、地域とのつながりをつくり、人と人との絆を再確認することが大切です。他人が困っている時は、「他人事」ではなく、自分のこととしてとらえ、支えあうことが今の時代、今の地域にあった、「新たな結」づくりに繋がっていくのではないのでしょうか。



～無題～

中郷中学校2年 畠山 美紅さん

(2)計画策定の経過

今回、北茨城市地域福祉活動計画を策定するにあたり、市民アンケートや住民懇談会を行い、日頃感じている問題や課題の把握に努めました。

①市民アンケートの実施

1,486人に配布
うち回収727人の協力
(回収率48.9%)

②社協支部による 住民懇談会の開催

7支部で各2回 計14回
参加者合計486人

より多くの市民が計画策定に参加するとともに、「地域福祉」に関心をもつきっかけづくりの場として、平成21年10月～平成22年2月までの期間において、住民懇談会（ワークショップ^{注2}）を各支部で開催しました。

1回目は、生活のなかで困っていることや心配なことについて意見（声）を出しあいました。

2回目は、1回目で出された意見（声）に対しての取り組む方向を、一人でできること、地域みんなのできること、行政にしかできないことに分けてみんなで考えました。

（各支部で出された意見、取り組みについては、資料編44～54ページ参照）



～動物セラピー～
中妻小学校3年 鈴木 佳奈さん

^{注2} ワークショップとは

先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が自ら参加・体験して共同で何かを学びあったり、創り出したりする、グループによる学びの手法のことを指します。

各支部の住民懇談会の様子



関南支部



大津支部



華川支部



磯原支部



中郷支部



平潟支部



関本支部

(3)住民懇談会での市民の声をまとめると…

7つの支部で開かれた住民懇談会での市民の声を高齢者、児童、障がい者などのテーマごとにまとめました。

高 齢 者

- (各支部に共通した声)
- ◎高齢者が立ち寄れる場所がほしい
- ◎地域で見守るネットワークができないか
- (いろいろな声)
- ・買物・通院の交通手段が少なく不便である
- ・災害時の救急体制が不安である
- ・各種サービスや介護等の相談窓口がわからない高齢者が多い
- ・老人クラブ活動への参加が減少している

児 童

- (各支部に共通した声)
- ◎子育てについて話しあえる場が必要である
- ◎通学路に歩道が無く登下校が心配である
- (いろいろな声)
- ・子育ての支援を充実してほしい
- ・夜間でも受診できるようにしてほしい
- ・子どもが安心して遊べる場所が少ない
- ・下校後の子どもの預け場所が不足している
- ・学校の空き教室を利用した「じいちゃん・ばあちゃんの育児支援」などがあるといい

障 がい 者

- (各支部に共通した声)
- ◎安心して相談できる場所が不足している
- ◎障がい者同士で集まれる場所がほしい
- (いろいろな声)
- ・バリアフリー^{注3}のまちになってほしい
- ・地域での生活には、地域の理解と協力が欠かせないと思う

情 報 提 供

- (各支部に共通した声)
- ◎地域にある福祉活動団体を市民に知らせてほしい
- ◎福祉サービスについての情報が行き渡っていない
- (いろいろな声)
- ・電車、バス等の交通手段の充実
- ・新型インフルエンザについて正確な情報を市民に伝えてほしい

^{注3} バリアフリーとは

障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）するという意味で、障がい者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁を除去することをいいます。

生活環境

- (各支部に共通した声)
- ◎心配ごとや困りごと等を誰に相談したらよいかわからない
- ◎近所同士のつきあいが希薄になった(あいさつしても返事がない)
- (いろいろな声)
- ・公園の整備が必要である
- ・空き家が多くなってきて防犯上不安がある
- ・防犯灯や街灯が少なくなってきた
- ・新しい人がいつでも気軽に入ってくる雰囲気づくりが必要だと思う
-
-
-

地域活動

- (各支部に共通した声)
- ◎「ご近所声かけ隊」等の活発な活動ができれば良いと思う
- ◎地域の行事等を町内会・ボランティア・自治会組織みんなで行い、その輪が市内全体にひろがれば良いと思う
- (いろいろな声)
- ・自治会や常会、PTA、子ども会等の組織に関わることを極端に嫌がる傾向がある
- ・ボランティアの意識を高めたい
- ・地域の活性化を図るのなら交流の場や機会を多く設けたほうが良いと思う
- ・三世代交流の場をもっともっとひろげたい
- ・子どもが小さい時から親子でボランティア活動に参加したい

ルール・マナー

- (各支部に共通した声)
- ◎ごみ出しのルールが守られていない
- ◎ゴミのポイ捨てが多くて困る(道路、港や山間地)
- ◎不法投棄
- (いろいろな声)
- ・野良犬・猫が多く困っている
- ・ペットの飼い主のモラルが低下している
- ・ゴミの問題については、皆が監視していくことから始める
-
-
-

特色ある意見

- (中郷支部)
- ・猪が出て困る
- (磯原支部)
- ・働く場所が少なくなって困る
- ・磯原駅東口の商店が少なく、活気がなくなり淋しい
- (華川支部)
- ・マムシが多くて困っている
- ・鯉のぼりやお祭りが最近見られなくて淋しい
- (関南支部)
- ・近所にお店が少なくて困る
- (大津支部)
- ・大津港の釣り客などのごみ問題
- (平潟支部)
- ・平潟港の釣り客などのごみ問題
- ・道路が狭い
- (関本支部)
- ・農業後継者がいなくて困る
- ・不法投棄が多くて困る

2 これからのわたしたちの進むべき道は

市民に対するアンケート、住民懇談会の結果から下記のような課題が明確になりました。

課題1) 人々の交流や関わりあいを 強める

昔ながらの近所づきあいが薄れ、近所同士の声かけや子どもへの声かけ等が少なくなり、常会への加入率も低下しています。

このようなことから、地域や近隣での人と人の繋がりが必要となっています。

■ 住民懇談会からの主な意見 ■

- ・ 近所の人とのつきあいが少ない。
- ・ 人づきあいができない人が増えている。
- ・ 近所のふれあいが少ない。
- ・ 地区の行事の参加者が少ない。
- ・ 常会を離脱するものが多い。

課題2) 福祉活動の担い手の育成

福祉活動の担い手が固定化し、新たな人材を育成する必要があります。また、より多くの市民参加を促すために、無理なく参加しやすい環境をつくることが求められています。

■ 住民懇談会からの主な意見 ■

- ・ 老人クラブや子ども会等の役員をする人がいない。
- ・ 地域(自治会・常会)に若い人が少なくなっている。
- ・ 高齢者・乳幼児向けの施策があっても若者への施策が抜けているのでは？
- ・ 多くの男性がボランティアに参加してほしい。
- ・ 老人クラブ、ボランティア活動の担い手が高齢化している。

課題3) 地域活動への理解や支援の 強化

地域活動団体等が身近な所で行うさまざまな活動や行事などへの市民の参加者が少なくなってきました。

その背景には、活動内容が十分に知られていないなどの問題があります。

■ 住民懇談会からの主な意見 ■

- ・ ボランティアの活動拠点となる場所がほしい。
- ・ 地域で活躍できる場はないのか？
- ・ 地域に対する住民の意識が薄く、そうした住民に対しての意識づくりは必要だと思う。
- ・ 地域コミュニティ^{注4}が少なくなっている。

課題4) 情報を届けるには (サービスや制度の利用に関する問題)

どこでどのようなサービスを行っているのかが分かりにくくなってきたため、自分の力で情報を得ることが難しい人たちに対して、分かりやすく整理した情報を正確に伝えることが必要となっています。

■ 住民懇談会からの主な意見 ■

- ・ 福祉サービスの情報をひろく提供してほしい。
- ・ 地域に対する住民の意識が薄く、そうした住民に対しての意識づくりは必要だと思う。
- ・ 障がい者にやさしいまちづくりをして欲しい。
- ・ 障がい者の就労について。
- ・ 障がい者が互いに話しあえる場づくり。
- ・ 福祉関係団体の情報が不足している。

^{注4} コミュニティーとは
居住地域を同じくする共同体のことを指します。

課題5) 相談しやすい環境づくり

市民の多くが「相談したくても何処に相談したら良いか分からない」という悩みをもっています。（住民懇談会の結果から）そのため、分かりやすい相談窓口の充実が求められています。

■ 住民懇談会からの主な意見 ■

- ・ 介護の相談窓口がわからない。
- ・ 心配ごと、困りごとをどこに相談してよいかわからない。
- ・ 相談内容によって、相談先が異なり連携がとれていないのでは？
- ・ 相談窓口機関が近所がない。

課題6) 一人ひとりにあった支援

日頃の不安や悩みなどを一人で抱え込んでしまう高齢者、障がい者、児童に対して、それぞれのニーズ^{注5}に沿った支援や見守りが必要となっています。

■ 住民懇談会からの主な意見 ■

- ・ 在宅介護の介護者を支援する仕組みの充実。
- ・ 買い物や通院等の交通の便が良くない。
- ・ 子どもの遊び場が少ない。
- ・ 下校後の子どもの預け場所が不足している。
- ・ 学校帰りに一人になってしまう子がいるので心配。
- ・ 子育てについて話しあえる場が少ない。
- ・ ひとり暮らしなので緊急時の対応が不安。

課題7) ネットワークの充実、 連携の強化

地域ではさまざまな福祉活動団体や諸機関が、それぞれの強みや特徴を活かした取り組みを進めています。一方で、団体間の連携不足により活動内容や情報が地域に届かないケースもあり、各団体間のネットワークを充実させることが求められています。

■ 住民懇談会からの主な意見 ■

- ・ 介護保険以外の福祉サービス（インフォーマル・サービス^{注6}）を取り入れない場合が多いように思います。
- ・ 地域の問題を解決するためには、自治会や社協、行政の力を結集するべきである。
- ・ 福祉サービスに参加する企業が少ない。

注5 ニーズとは

本人あるいは家族が援助してほしいと望んでいるものや、実際に生活上等で困っているものを指します。

注6 インフォーマル・サービスとは

公的な制度に位置付けられた社会福祉サービス（ホームヘルプサービスやデイサービス）をフォーマル・サービスというのに対して、家族・近隣・知人・ボランティア等がおこなう制度に位置付けられていない福祉活動のことを指します。



～夕やけのさんぽ～
明德小学校6年 酒井 亜緒里さん



～無 題～
中郷中学校2年 葛原 江里さん

第3章

計画の基本的な考え方



～やさしいね～

関南小学校3年 川邊 ありささん



1 基本理念

誰もが安心して暮らせる わたしたちのまち北茨城

～基本理念を支える4つの想い～

この活動の基本理念は「誰もが安心して暮らせるわたしたちのまち北茨城」です。
この基本理念のなかには、四つの想いが込められています。

- 一つ目は、「できることから始めましょう」という想いです。
- 二つ目は、「みんながつながりをもちましょう」という想いです。
- 三つ目は、「みんなで支えあいましょう」という想いです。
- 四つ目は、「みんなの力で住みよいまちをつくりましょう」という想いです。

私たちは、日々の生活のなかで知らず知らずのうちに誰かと関わって、誰かに支えられているはずで、そして自分も誰かの支えになっています。私たちは、一人で生きているわけではないのです。家族がいて、友人がいて、地域があって、はじめて幸せになれるのです。

このような想いを市民一人ひとりがもち、お互いに支えあっていくことが「誰もが安心して暮らせるわたしたちのまち北茨城」に繋がっていくのです。





2 計画の体系図

基本理念	基本目標	基本計画	取り組む方向
誰もが安心して暮らせるわたしたちのまち北茨城	1 みんなが主人公になれるまちづくり ～できることをやってみよう～	感謝と思いやりの心を育てよう	①地域福祉に関心をもとう
			②福祉の心を育もう (家庭・学校・地域)
			③参加の輪をひろげよう (ボランティアへの参加)
	2 みんなとともにいきるまちづくり ～つながろう～	地域の人々とつながろう	①市民活動へ目を向けよう (環境づくり)
			②地域福祉活動を活性化しよう (社協支部の強化)
			③地域で交流をもとう (たまり場づくり・サロン活動 ^{※7})
	3 みんなが安心して暮らせるまちづくり ～支えあおう～	みんなで見守ろう	①地域に目をむけよう
			②困ったら相談しよう (情報の共有)
			③子どもが健やかに育つまちづくりをしよう
			④高齢者が生きがいをもてるまちづくりをしよう
			⑤障がい児・者が暮らしやすいまちづくりをしよう
	4 みんなですすめるまちづくり ～みんなの力で～	人にやさしいまちづくりをしよう	①人を育てよう (人材の育成)
			②地域の支えあう力を高めよう
			③行政や他分野と連携しよう
			④みんなの計画をみんなで進めよう

※7 サロン活動とは

地域の誰もが気軽に参加できるような場・機会を設け、参加者がそこに集い自由な雰囲気の中で語りあい、相互に交流・理解を深める活動を指します。



「夕やけの空」
中郷第一小学校5年 山形 優弥さん



「無題」
中郷中学校2年 山形 真海さん



「みんな仲よく」
中妻小学校6年 斎藤 授伽さん



「お年よりの手助け」
中郷第一小学校5年 小林 莉奈美さん



「無題」
中郷中学校3年 渡邊 菜月さん

第4章

基本計画への取り組み



～みんなで折り紙～

中郷第一小学校5年 丹内 結心さん

《基本目標1》 みんなが主人公になれるまちづくり

私たちの身の回りには、ひとり暮らしで日常生活に困っている高齢者や障がい等で何らかの支援を必要としている人や、子育て、家族の介護等、日々の生活のなかで悩みや不安を抱えている人がいます。

このような誰にでも起こりうる福祉課題の解決のためには、公的な福祉サービスの充実とともに、家族、隣近所、地域等の理解と支えあいが必要です。

そのために、市民一人ひとりが地域福祉に関心をもち、自分でできることから活動をはじめることが必要となります。

基本目標 1

みんなが主人公になれるまちづくり ～できることをやってみよう～

基本計画

感謝と思いやりの心を育てよう

〈取り組む方向〉

- ①地域福祉に関心をもとう
- ②福祉の心を育もう（家庭・学校・地域）
- ③参加の輪をひろげよう（ボランティアへの参加）

市民一人ひとりが…

- 1. 福祉のことがもっとわかるようになるといいな。
- 2. 思いやり、支えあいの心が芽ばえるといいな。

【基本計画】感謝と思いやりの心を育てよう

【取り組む方向】

①地域福祉に関心をもとう

地域で生活をしている全ての人々が、地域福祉に関心を持ち、知ること、学ぶことから、活動をはじめましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
福祉に関する研修会や講座に参加します。				
ボランティアや地域福祉活動への理解や参加をひろめます。				
地域福祉活動を行う際に全ての人々が参加しやすい工夫をします。				

【表の見方】 「主に進めるところ」は、主な取り組みの項目を中心的に実践していくところに北茨城市の花（シャクナゲ）、木（松）、鳥（かもめ）、魚（アンコウ）の印がついています。もちろん、印のないところも協力しあって活動を進めていきます。

- ◇市民とは、わたしたち北茨城市民みんなのことです。
- ◇団体とは、ボランティア団体や各種団体、福祉事業者のことです。
- ◇社協とは、北茨城市社会福祉協議会のことです。また、社協には各町にある社協支部も含まれます。
- ◇行政とは、国や県、市役所などの行政機関のことです。



市内老人クラブ連合会女性委員によるボランティア活動「花いっぱい運動」



無題
中郷中学校2年 川上 茉莉枝さん

②福祉の心を育もう（家庭・学校・地域）

地域福祉への理解を進め、福祉の心を次世代に繋^{つな}げていくために、子どもたちが福祉について学んだり、体験することができる機会をより充実させましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
親子で福祉について考える機会をつくれます。				
福祉教育推進のためのネットワークをつくれます。				
地域の特色を生かした福祉教育を展開します。				
学校などが行う福祉学習に協力します。				

③参加の輪をひろげよう（ボランティアへの参加）

自分でできることを見つけて、積極的に活動することにより人づくりの輪をひろげましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
ボランティア活動の拠点となるボランティアセンターを活用します。				
ボランティアに関する分かりやすい情報を発信します。				
親子で一緒にボランティア活動をします。				
ボランティア講座、研修会の場を設け意識を高めます。				

《基本目標2》 みんなとともにいきるまちづくり

市民やさまざまな団体により、市内の各地域で、伝統文化の継承や世代間交流などが行われています。

このような市民が主体となった活動は、地域交流の一つの形であり「まち」を元気にする重要な要素でもあります。

今後も市民が主体となった「まちづくり」を進めるため、一人ひとりの心に根付いている「感謝と思いやり」の気持ちを市民活動につなげ、その輪をひろげていくことが大切になります。

基本目標 2

みんなとともにいきるまちづくり

～つながろう～

基本計画

地域の人々とつながろう

〈取り組む方向〉

- ①市民活動へ目を向けよう（環境づくり）
- ②地域福祉活動を活性化しよう（社協支部の強化）
- ③地域で交流をもとう（たまり場づくり・サロン活動）

市民一人ひとりが…

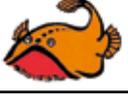
1. 「何か地域の役にたちたい」と願い、活動できるといいな。
2. さまざまなボランティア活動を地域でできるといいな。
3. 主役となったボランティア活動でみんなの心が豊かになるといいな。

【基本計画】地域の人々をつなごう

【取り組む方向】

①市民活動へ目を向けよう（環境づくり）

市民活動をより充実させるために、各種団体の活動を支援するとともに、市民が参加しやすい環境をつくりましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
誰でも市民活動に参加しやすい環境づくりをします。				
団体等の活動内容の周知や仲間づくりに努めます。				
関係団体との情報交換や交流を深め活動の輪をひろげます。				

②地域福祉活動を活性化しよう（社協支部の強化）

社協支部は、住みやすい地域づくりを目指して、市民が進んで福祉活動へ参加できるようにつくられた組織であり、社協支部の活性化を図りながら、まちづくりをしていきましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
ひとり暮らし高齢者などにふれあいサロンへの参加を呼びかけます。				
支部ごとに住民懇談会を開催します。				
世代間交流の場をつくります。				
地域での見守り活動を進めます。 （ご近所声かけ隊等）				
社協支部の活動を充実させ、地域にあった福祉活動を進めます。				

③地域で交流をもとう（たまり場づくり、サロン活動）

誰でもいつでも気軽に参加できる雰囲気づくり、情報交換や仲間づくりの場（たまり場）を地域全体にひろげていきましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
気軽に集まれる場をつくります。				
世代間交流の機会をつくります。				
高齢者や子育て等のサロン活動を支援します。				



子育てサロンでの夏祭りの様子



笑顔の記念写真
中郷第小学校5年 小関 知宏さん

《基本目標3》 みんなが安心して暮らせるまちづくり

少子高齢化や核家族化の進行に伴い、地域で日常的な見守りが必要なケースが増えています。

各地域では民生委員・児童委員、社協支部役員を中心としたさまざまな見守り活動が行われていますが、今後このような見守りを必要とする人は、さらに増加することが考えられます。

そのためにも、市民みんなで取り組める見守り活動を浸透させ、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めることが必要となってきます。

基本目標 3

みんなが安心して暮らせるまちづくり

～支えあおう～

基本計画

みんなで見守ろう

〈取り組む方向〉

- ①地域に目を向けよう
- ②困ったら相談しよう（情報の共有）
- ③子どもが健やかに育つまちづくりをしよう
- ④高齢者が生きがいをもてるまちづくりをしよう
- ⑤障がい児・者が暮らしやすいまちづくりをしよう

市民一人ひとりが…

1. 地域の見守りのひろがりによって、安心して暮らせるようになるといいな。
2. 悩みごと、心配ごとを一人で抱えずに相談できるようになるといいな。
3. 地域のなかでお互いに支えあえればいいな。

【基本計画】 みんなで見守ろう

【取り組む方向】

①地域に目を向けよう

お互いに困りごとがあった場合には、近所同士で気軽に声をかけあえる関係づくりを進めましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
自分の住んでいる地域に目を向けます。				
地域ニーズの把握に努めます。				
「困った時はお互いさま」の意識を高めます。				

②困ったら相談しよう（情報の共有）

市民一人ひとりが生活するなかで、困っていることを気軽に相談できる環境づくりをしましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
自治会・常会などで集まる機会を増やします。				
専門機関につなぐことのできるネットワーク体制をつくります。				
気軽に情報交換や相談できる場をつくります。				



「おじいさんを助けよう」
中郷第一小学校5年 藤枝 望音さん



「なかよく遊んでいるみんな」
明徳小学校5年 荻谷 礼果さん

③子どもが健やかに育つまちづくりをしよう

子どもたちの健やかな心とからだを育てるために、地域の人が世代を超えて支えあう関係づくりを進めましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
子育てをサポートするしくみを充実させます。				
関係機関・団体と協働して、世代間交流の場をつくります。				
登下校時における見守り活動の充実を図ります。				
誰とでも気軽にあいさつできる関係をつくります。				

④高齢者が生きがいをもてるまちづくりをしよう

住み慣れたこのまちで、いつまでも安心して暮らしていけるように地域で支えあい助けあえる関係をつくりましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
生きがい講座・サロン活動を充実させます。				
知識や技術を生かす機会をつくります。				
介護予防の充実を図ります。				
学校行事、町内会の行事をとおして世代間交流の場をつくります。				

⑤障がい児・者が暮らしやすいまちづくりをしよう

障がいをもつ人たちが住み慣れた地域のなかで、安心して暮らせるまちづくりを進めましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
障がい児・者のニーズの把握に努めます。				
「まち点検」を行い、危険個所の解消に努めます。				
障がい児・者の生活を支えるための福祉活動を進めます。				



「友だち大好き」
中妻小学校2年 矢吹 勇貴さん



「無題」
中郷中学校2年 中川 凌吾さん



「ささえあい」
明徳小学校5年 金川 千夏さん



「小さな事から…」
中郷第小学校5年 滝 茉白さん

《基本目標4》 みんなですすめるまちづくり

今後のまちづくりについては、行政主導から市民と行政の協働による取り組みへの転換が求められており、さまざまな分野で市民参加の重要性が高まるものと考えられます。

福祉のまちづくりにおいても、地域のみんなで優しい人を育てることが「誰もが安心して暮らせるまちづくり」に繋がっていきます。

基本目標 4

みんなですすめるまちづくり

～みんなの力で～

基本計画

人にやさしいまちづくりをしよう

〈取り組む方向〉

- ①人を育てよう（人材の育成）
- ②地域の支えあう力を高めよう
- ③行政や他分野と連携しよう
- ④みんなの計画をみんなに進めよう

市民一人ひとりが…

1. やさしい気持ちを持ち、お互いを思いやる心が育つといいな。
2. 経験や能力を、地域活動に生かせるようになるといいな。
3. 地域活動をとおして交流や連携の輪がひろがるといいな。

【基本計画】人にやさしいまちづくりをしよう

【取り組む方向】

①人を育てよう（人材の育成）

福祉活動を進める中心的なリーダーを育てましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
地域で活躍してくれる人材を掘り起こします。				
ボランティアや市民活動団体等の担い手を養成します。				
地域福祉活動を進めるためのリーダーを育成します。				

②地域の支えあう力を高めよう

地域のなかで誰もが気持ちよく生活をしていくためには、お互いに思いやりの心を持ちましょう。一人ひとりがもっている知識や技術を、地域に生かせるような機会や場づくりを進めましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
市民の参加を進めて地域福祉活動を充実させます。				
ぬくもりのあるネットワークをひろげます。				
誰もが助けあえる仕組みをつくりまします。				



1年生とターザン
明徳小学校5年 小室 雅揮さん

③行政や他分野と連携しよう

地域、行政、団体等がお互いに力をあわせて、住みよい地域にしていくためのネットワークをつくりましょう。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
市民、団体、行政がお互いに連携します。				
分野ごとの特色を生かした活動を進めていきます。				
地域福祉活動をサポートする体制をつくれます。				

④みんなの計画をみんなに進めよう

この計画は、市民の参加があってはじめて目的を達成することができます。そのために、市民みんなで取り組んで進めていきます。

主な取り組み	主に進めるところ			
	市民	団体	社協	行政
各地区にあった活動を進めていきます。				
取り組み委員会（仮称）で計画の進み具合について話しあいます。				
社協支部が中心となって、新たな地域の生活課題に取り組めます。				



資料編

1. 地域福祉活動計画策定に関するアンケート調査
2. 住民懇談会で出された地域の課題と取り組み案
3. 北茨城市地域福祉活動計画策定委員会設置規程
4. 北茨城市地域福祉活動計画策定委員会委員名簿



～無 題～

中郷中学校2年 滝 美加子さん

1. 地域福祉活動に関するアンケート調査

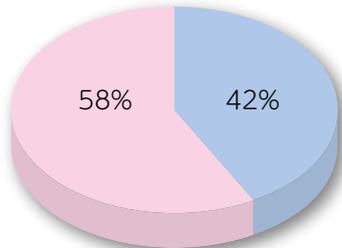
ひとり暮らし高齢者

有効回答
人数

男：84
女：114

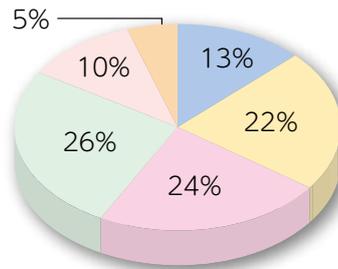
合計198人

Q1.あなたの性別は



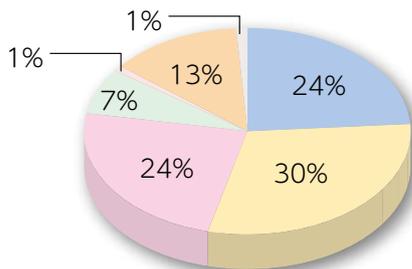
■ 男 (84人)
■ 女 (114人)

Q4.あなたの年齢は



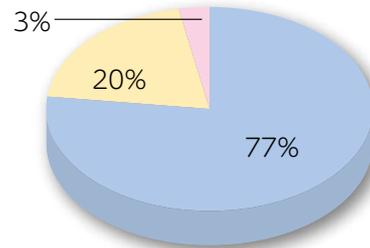
■ 65~69歳 (26人) ■ 85~89歳 (20人)
■ 70~74歳 (44人) ■ 90歳以上 (9人)
■ 75~79歳 (47人)
■ 80~84歳 (52人)

Q3.あなたにとって地域は、どの範囲のことだと思いますか



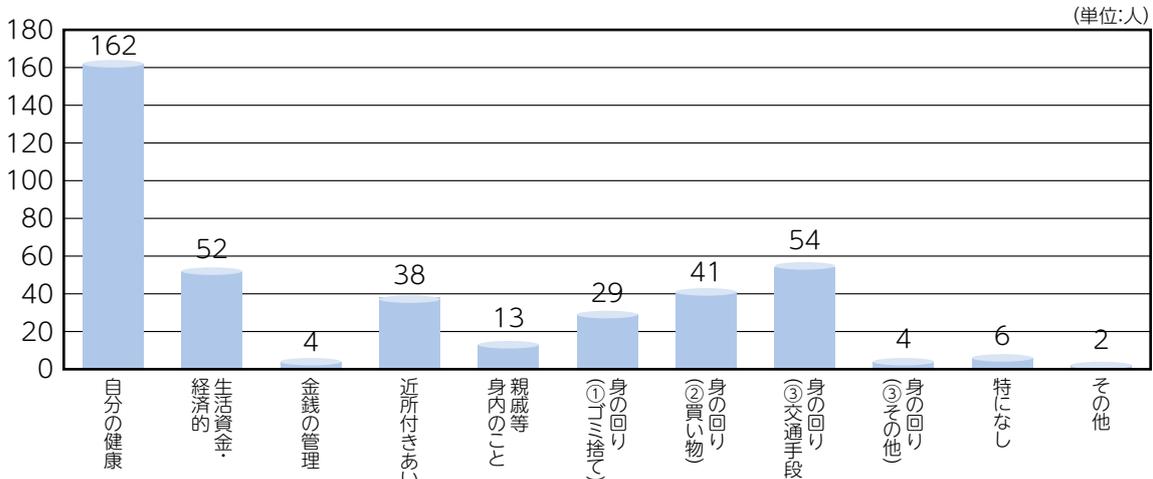
■ 隣近所 (47人) ■ 中学校区 (1人)
■ 常会 (60人) ■ 市全体 (26人)
■ 大字(区) (47人) ■ その他 (2人)
■ 小学校区 (15人)

Q4.あなたの考える理想的な「地域」との関わりとは

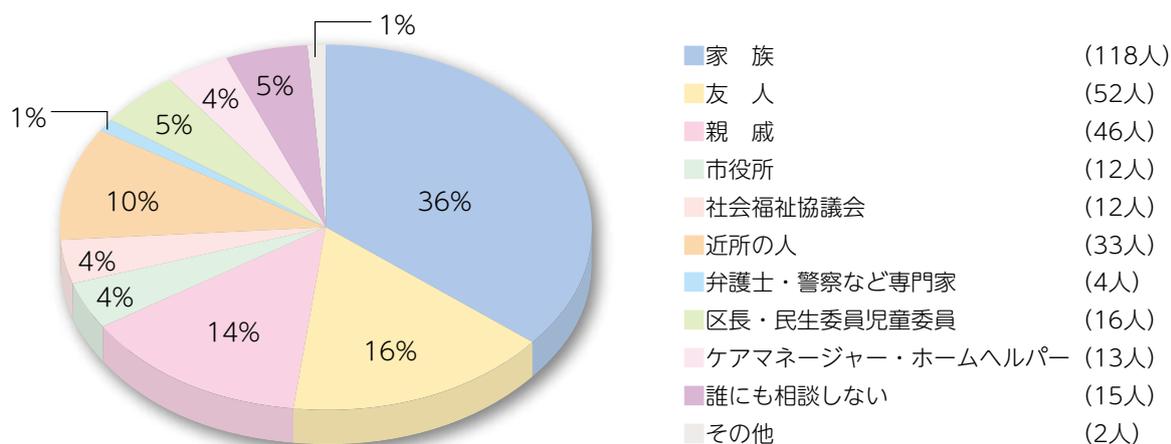


■ お互いに協力できるような関わり (153人)
■ あいさつ程度はできる関わり (40人)
■ 特に関わりたいと思わない (5人)

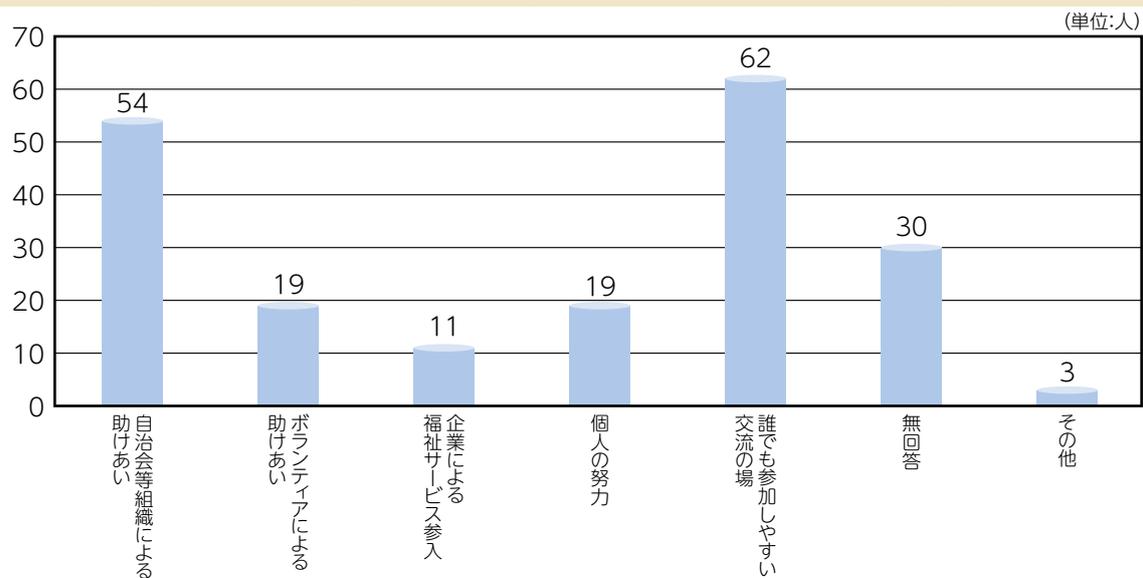
Q5.あなたが抱えている生活課題・問題はどのようなことですか(複数回答可)



Q6.抱えている生活課題・問題を誰に相談しますか(複数回答可)



Q7.あなたの住む地域をより住み良い地域にするためには、どのような活動が必要ですか



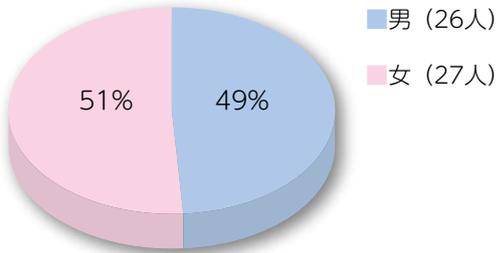
障がい者

有効回答
人数

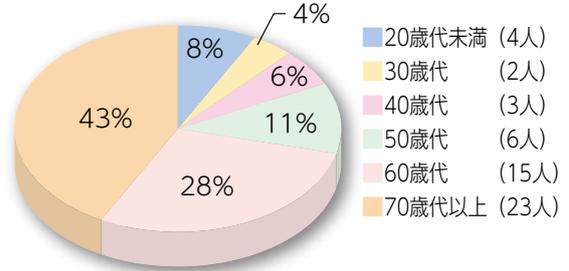
男：26
女：27

合計53人

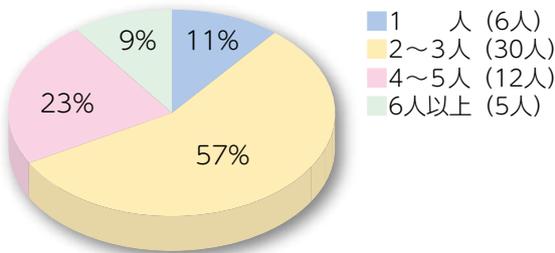
Q1.あなたの性別は



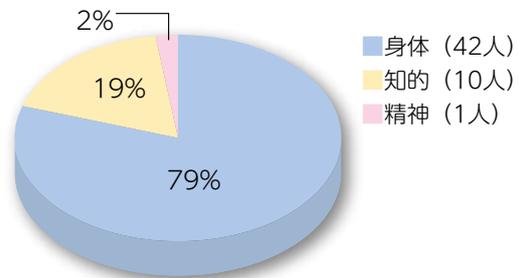
Q2.あなたの年齢は



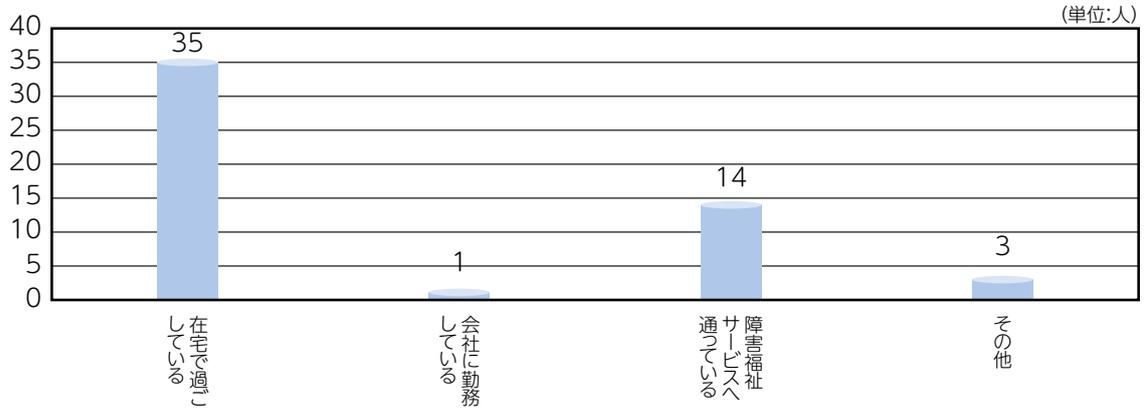
Q3.あなたの家族構成は



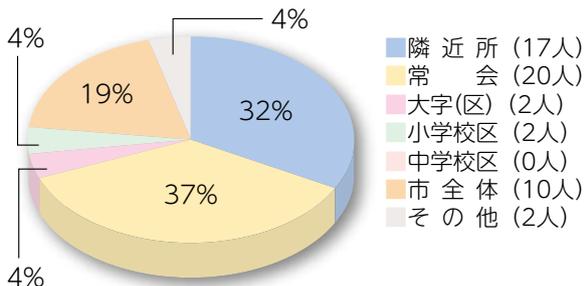
Q4.あなたの障がいの種類は



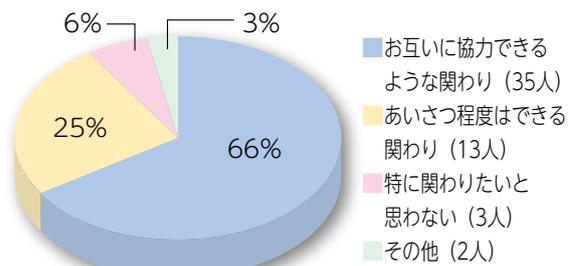
Q5.あなたの主な1日の生活は



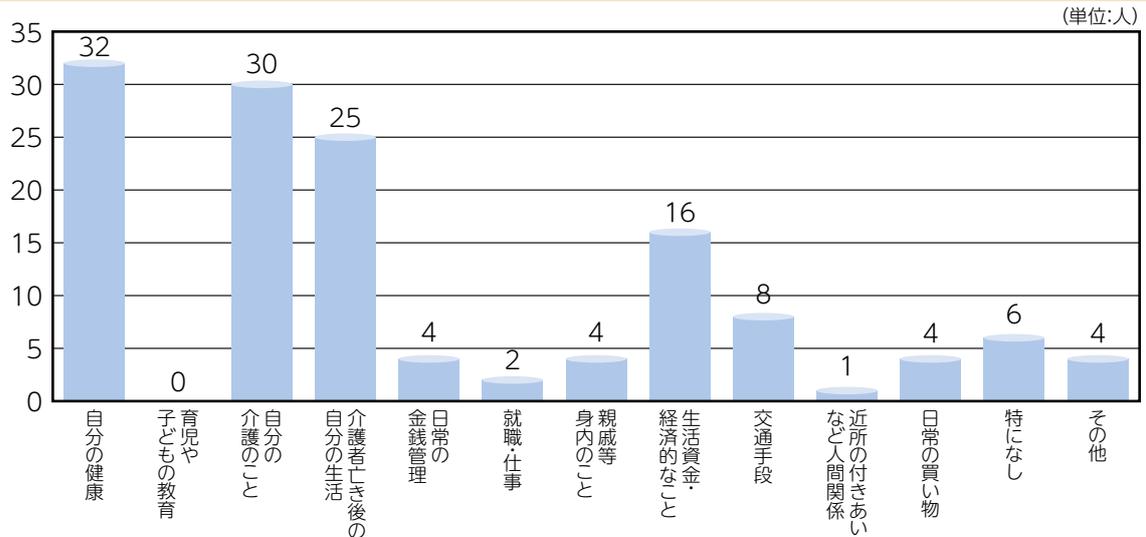
Q6.あなたにとって地域は、どの範囲のことだと思いますか



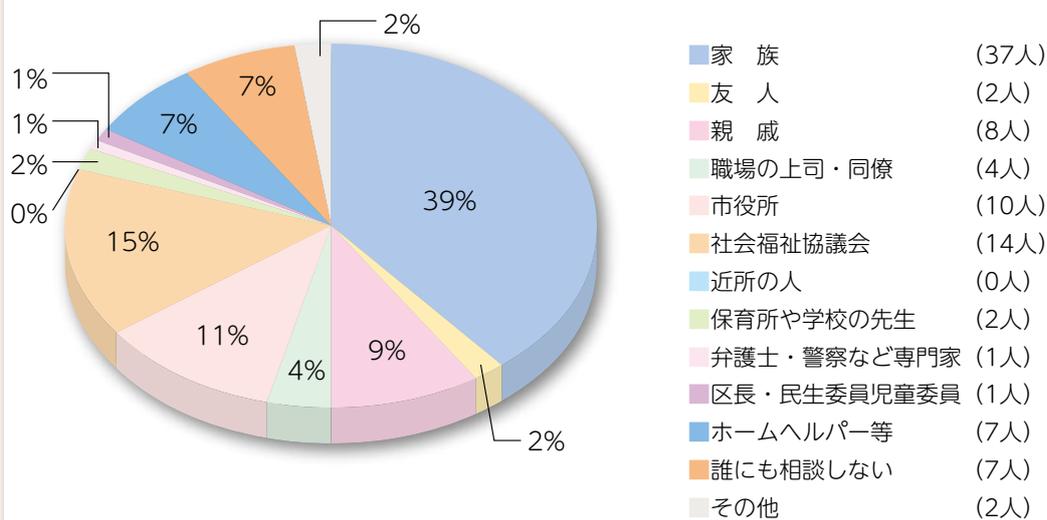
Q7.あなたの考える理想的な「地域」との関わりとは



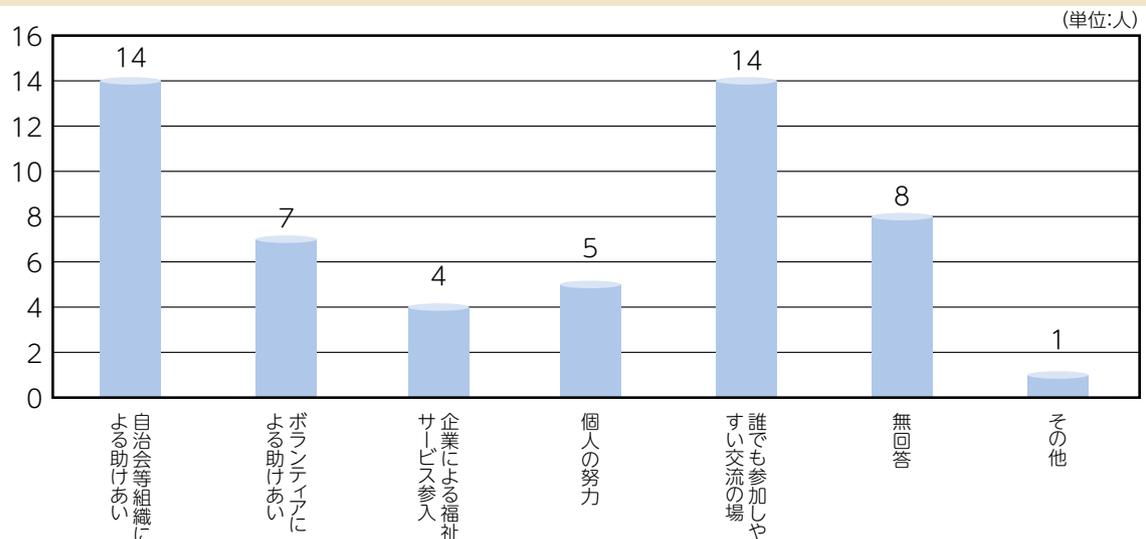
Q8.あなたが今抱えている生活課題・問題はどのようなことですか（複数回答可）



Q9.生活課題や問題を誰に相談しますか（複数回答可）



Q10.あなたの住む地域をより住み良い地域にするためには、どのような活動が必要ですか



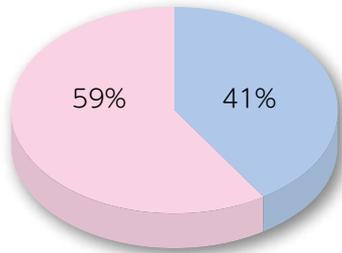
地域活動者

有効回答
人数

男：194
女：282

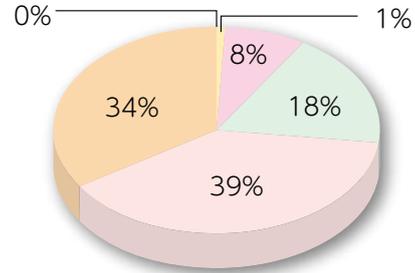
合計476人

Q1.あなたの性別は



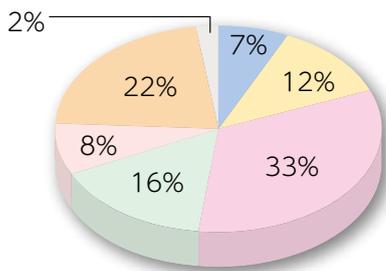
■男 (194人)
■女 (282人)

Q2.あなたの年齢は



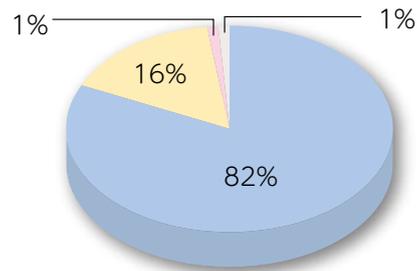
■20歳代 (0人) ■60歳代 (184人)
■30歳代 (6人) ■70歳以上 (162人)
■40歳代 (37人)
■50歳代 (87人)

Q3.あなたにとって地域は、どの範囲のことだと思いますか



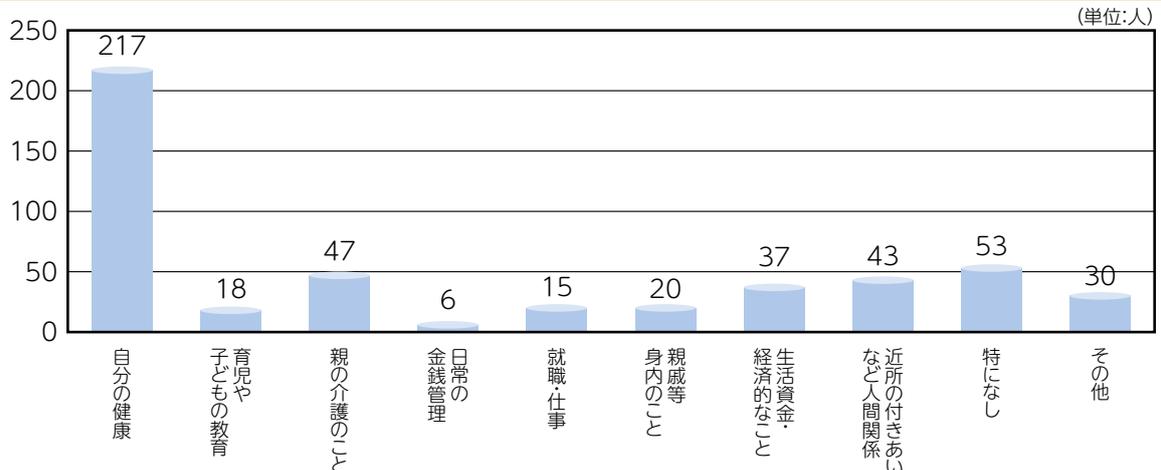
■隣近所 (32人) ■中学校区 (37人)
■常会 (56人) ■市全体 (107人)
■大字(区) (159人) ■その他 (9人)
■小学校区 (76人)

Q4.あなたの考える理想的な「地域」との関わりとは

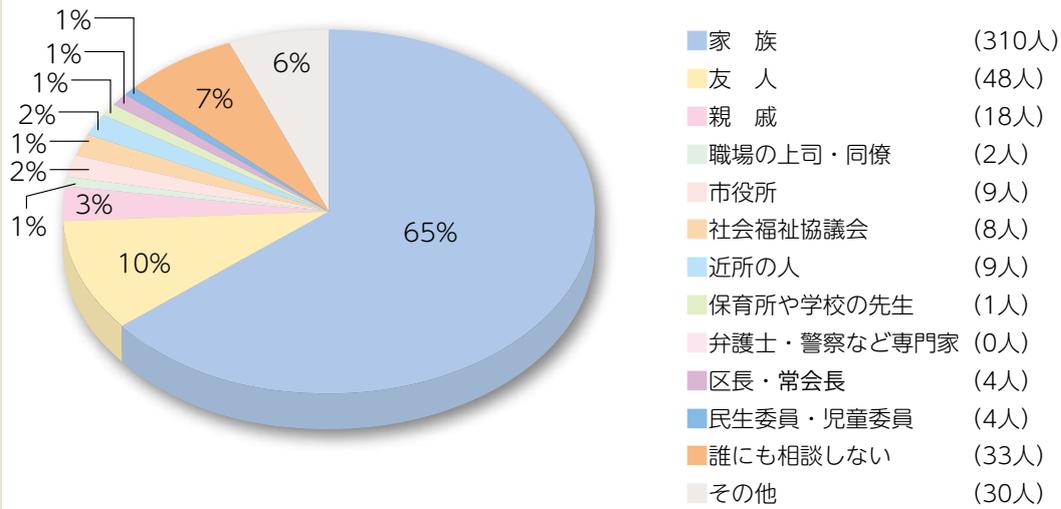


■お互いに協力できるような関わり (391人)
■あいさつ程度はできる関わり (76人)
■特に関わりたいと思わない (5人)
■その他 (4人)

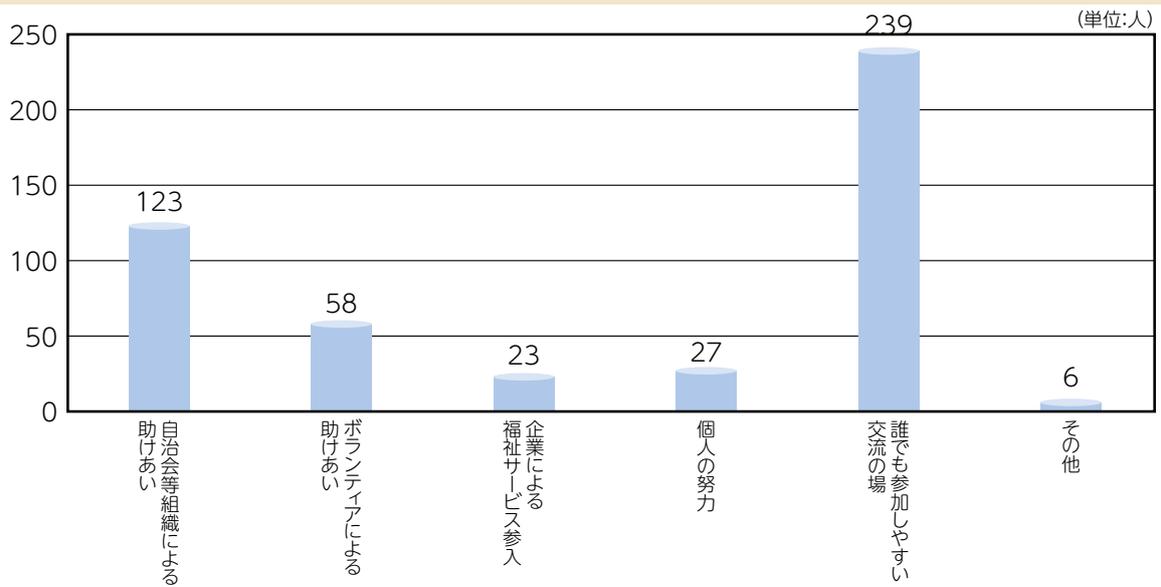
Q5.あなたが抱えている生活課題・問題はどのようなことですか(複数回答可)



Q6.生活課題や問題を誰に相談しますか(複数回答可)



Q7.あなたの住む地域をより良いものにするためには、どのような活動が必要ですか



2. 住民懇談会で出された地域の課題と取り組み案

【高齢者】

課題	取り組み区分	地域									
		磯原	中郷	華川	関本	関南	大津	平潟			
生活環境	一人ですること	友人、知人との相乗り	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>		
		近所の方に声をかけて乗りあいをする				<input type="checkbox"/>					
		移動販売車を利用する				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		送迎用の車を提供できる人を登録し、将来自分が必要になった時のために備える						<input type="checkbox"/>			
		知人の車に乗せてもらう									
		子どもやその他の家族をお願いする		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
		宅配などを利用する		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				
		移動販売車や個人宅配を利用する	<input type="checkbox"/>								
		買い物はスーパー等の宅配を利用する						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		地域で相乗りをする			<input type="checkbox"/>						
生活環境	みんなで協働してできること	相互で助けあう		<input type="checkbox"/>							
		地域住民のなかで応援		<input type="checkbox"/>							
		移動販売車を利用する（買物）		<input type="checkbox"/>							
		商店で移動販売をしてほしい					<input type="checkbox"/>				
		乗りあいで行く							<input type="checkbox"/>		
		近所の人に乘せてもらう又は買物を依頼する	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		商店等に注文して配達してもらう	<input type="checkbox"/>								
		バスの便数を増やす		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
		タクシー等の相乗りの検討						<input type="checkbox"/>			
		法整備を図り、隣人等が自家用車等による支援することができるようしてほしい						<input type="checkbox"/>			
生活環境	行政に期待すること	巡回バスを増やしてもらうよう働きかける					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		路線バスを増やしてもらう	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>		
		行商・移動販売車にきてもらう	<input type="checkbox"/>								
		連絡網をつくる						<input type="checkbox"/>			
		携帯電話の活用						<input type="checkbox"/>			
		近所付きあいのなかで声をかけあう						<input type="checkbox"/>			
		常会単位での体制をつくる						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		生活環境	ひとり暮らしが多く、緊急時の対応に不安								

【高齢者】

課 題	取 り 組 み 区 分	地 区						
		磯原	中郷	華川	関本	関南	大津	平潟
生 活 環 境	ひとり暮らしが多く、緊急時の対応に不安	支援仕組みの充実	○					
		市内全域に組織化を図る		○				
	ひとり暮らしが多く、心配（転倒・火の始末）	近所の人が一声かける	○	○	○	○	○	○
		配食サービスの利用を増やし見守り活動をする						
	ひとり暮らしが多い	民生委員の方に見守りをお願いする					○	
		地域で話しあう日を決め、グループ・個人で訪問する						○
		定期的に声をかける						○
		犬の散歩、ウォーキングの時に一声かける				○		
		ご近所の声を積極的に聞く	○			○		
		近所付きあいのなかで見守る	○	○	○	○	○	○
介 護 相 談 の 窓 口 が わ か ら な い	声かけ隊活動の充実			○				
	声かけをし、地域・学校行事への参加をすすめる						○	
	公民館活動に誘う				○			
	民生委員が訪問し、安否確認をする	○			○			
	女性消防団の活動の充実			○				
	公民館活動として各種行事を取り入れていく				○			
	一人でできること							
	みんなで協働してできること							
	行政に期待すること							
	高齢福祉課・社会福祉協議会に話を聞く	○	○					
在宅介護の介護者を支援するしくみの充実	地域住民のなかで応援				○			
	市内の福祉活動団体の所在を教えて欲しい	○	○	○	○	○	○	
	支援仕組みの充実			○			○	
	一人でできること							
	みんなで協働してできること							
	行政に期待すること							
	一人でできること							
	みんなで協働してできること							
	行政に期待すること							
	小学校の空き教室を利用する	○	○	○	○	○	○	
地 域 社 会	一人でできること							
	みんなで協働してできること							
	行政に期待すること							
	災害時の救急体制が不安						○	
災害時の救急体制が不安	災害時に備え、日頃から話しあいの場をつくる			○				
	常会単位で対策組織をつくる						○	
	市内全域に組織化を図る						○	

【高齢者】

課 題	取 り 組 み 区 分	地 区						
		磯原	中郷	華川	関本	関南	大津	平潟
地域 社 会	老人クラブ活動の参加者の減少	一人ですること						
		みんなが協働してできると行政に期待すること	○	○				
	高齢者の立ち寄れる場所がほしい、又子どもと高齢者が一緒に遊ぶ場所がほしい	一人ですること						
		みんなが協働してできると行政に期待すること	○	○	○	○	○	○
		一人ですること						
		みんなが協働してできると行政に期待すること	○	○	○	○	○	○
	近所との付き合いが少ない	一人ですること			○			
		みんなが協働してできると行政に期待すること		○	○	○		
	ひとり暮らしが淋しい	一人ですること		○				
		みんなが協働してできると行政に期待すること		○				
自身の今後が心配	一人ですること				○			
	みんなが協働してできると行政に期待すること				○			
地域 社 会	市立病院の充実	一人ですること						
		みんなが協働してできると行政に期待すること						
	市立病院の医師不足で不安	一人ですること				○		
		みんなが協働してできると行政に期待すること	○	○	○	○	○	○
	市立病院の受け入れが不安	一人ですること						
		みんなが協働してできると行政に期待すること	○					
	老後の年金が不安	一人ですること						
		みんなが協働してできると行政に期待すること	○			○	○	○

【児童】

課 題	取 り 組 み 区 分	地 区						
		磯原	中郷	華川	関本	関南	大津	平潟
交 通	一人ですること	ご近所声かけ隊が立哨指導をする				○	○	
		路上駐車を禁止する					○	○
	みんなで協働してできること	地域ごとに草を刈る				○		
		学校での集団登下校時の整列・安全指導を徹底する		○			○	○
		交通指導をする			○			
		スピード注意の看板を立てる			○			○
	行政に期待すること	当番制にして保護者が立つ			○			
		学校と地域の懇談会をもち協力体制をつくる	○	○				
		定期的に点検する				○		
		歩道の確保（線引きの実施）					○	○
意見書を提出する							○	
歩道の整備			○	○			○	
生 活 環 境	一人ですること	学校の校庭の開放					○	
		地域で話しあい、場所の提供をする		○				
	行政に期待すること	公共施設を開放する					○	
		公園の整備		○				
		学校の空き教室の有効利用		○				
		土地を確保し公園をつくってもらう	○					
	一人ですること	学校の校庭を開放する						○
	下校後の子どもの預け場所が不足している	子どもを預けたい人と預かりたい人を結びつける			○		○	○
		学童保育の拡大						○
		学童保育の無料化、もしくは助成制度の確立	○	○				○
学校の空き教室の利用							○	
地域社会	一人ですること							
	みんなで協働してできること							
行政に期待すること	警察・ボランティアのパトロール		○		○			

【児童】

課 題	取 り 組 み 区 分	地 区							
		磯原	中郷	華川	関本	関南	大津	平潟	
地 域 社 会	あいざつできない 子が多い	一人ですること		○				○	
		みんな協働して 行政に期待すること							
	子ども会が消滅し てきている	一人ですること			○				
		みんな協働して 行政に期待すること			○				
		行政に期待すること							
		一人ですること			○				
	子育てについて話 しあえる場所が少 ない	みんな協働して 行政に期待すること			○				
		行政に期待すること							
		一人ですること			○				
		みんな協働して 行政に期待すること			○				
小学校が無くなっ てしまうのではな いか心配	一人ですること								
	みんな協働して 行政に期待すること			○					
	行政に期待すること								
	一人ですること			○					
子どもの安全に対 して地域の見守り がほしい	一人ですること								
	みんな協働して 行政に期待すること								
	行政に期待すること								
	一人ですること								
大人と子どもの関 わりが少ない	一人ですること								
	みんな協働して 行政に期待すること								
	行政に期待すること								
	一人ですること								
他の課題	食の安全安心が 心配						○		
	関南小の空き教室 の有効利用								
	高齢者・子育てのサークルの場所にしたい							○	

【地域住民】

課 題	取 り 組 み 区 分	地 区					
		磯原	中郷	華川	関本	関南	大津 平潟
路上駐車が多く困る	一人だけでできること		○				○
	みんなで協働してできること		○				
	行政に期待すること		○				
家が川の側で大水が心配	一人でできること						
	みんなで協働してできること			○			
山間地域にお店がなく買物に困る	行政に期待すること			○			
	一人でできること	○					
近くにお店がなく困る	みんなで協働してできること	○					
	行政に期待すること						
道路の草が伸び放題で困る	一人でできること						
	みんなで協働してできること					○	
関本炭鉱跡地の雑草が多く困る	行政に期待すること						○
	一人でできること						
雑草が伸びて危険(他人の土地)	みんなで協働してできること						
	行政に期待すること						
マムシが多く困っている	一人でできること						
	みんなで協働してできること			○			
公園が整備されていない	行政に期待すること						
	一人でできること						
共働きの増えが留守が留守	近隣住民で協力して草刈りをする					○	○
	遊具などは市役所に相談する					○	
隣に声をかけて、近所付き合いを密にする	留守が留守が留守が留守						○
	留守が留守が留守が留守						○

【地域住民】

課 題	取 り 組 み 区 分	地 区						
		磯原	中郷	華川	関本	関南	大津	平潟
ル ー ル ・ マ ナ ー	一人ですること	釣り船の船主が周辺の掃除をする 港に行った時ゴミを拾ってもち帰る 看板をたてる						
	みんなで協働してできること 行政に期待すること							
	一人ですること	飼い主が責任をもつ 各自で袋をもって処理する			○			○
	みんなで協働してできること 行政に期待すること	立て看板をたて、注意を促す 予防注射時に飼い主にPRする（エチケツト袋等の配布）	○		○			○
	一人ですること	各自が必ずもち帰る、また見かけたら声をかける	○					
	みんなで協働してできること	立て看板の設置・子ども達にポスターをかいてもらい掲示する 組合・ボランティアに巡回してもらう 釣り人に駐車料金を徴収したり、ゴミ袋を配布する						○
	行政に期待すること							
	一人ですること	一人ひとりが気をつける 名前をしっかりと書く 立て看板の設置	○	○	○			
	みんなで協働してできること	次回の収集予定を貼る 当番制で立ち、掃除をする ゴミ置き場を作り、カギを設置する	○		○	○		
	行政に期待すること							
野良犬・猫が多く 困っている	一人ですること	むやみに餌を与えない	○					
	みんなで協働してできること							
	行政に期待すること	保健所に連絡する	○					
	一人ですること							
他の課題	消防団の入団が少 ない	入団の特典をつくる（退職金のU.P） 女性消防団の入団の促進					○	
	一人ですること							
	みんなで協働してできること 行政に期待すること	企業を誘致する					○	

【地域住民】

課 題	取 り 組 み 区 分	地 区						
		磯原	中郷	華川	関本	関南	大津	平潟
芸術鑑賞の場がない	一人ですること							
	みんな協働してできること 行政に期待すること				○			
市立病院の充実	一人ですること							
	みんな協働してできること 行政に期待すること		○	○		○		
夜中に暴走族の騒音がうるさくて困る	一人ですること							
	みんな協働してできること 行政に期待すること							
回覧板の回るのが遅い	一人ですること							
	みんな協働してできること 行政に期待すること						○	○
両隣の生垣が大きくなって車道が狭くなり困る	一人ですること							
	みんな協働してできること 行政に期待すること	○						
働く場所（工場）が少ない	一人ですること							
	みんな協働してできること 行政に期待すること							
地元のオリジナルのお土産がほしい	一人ですること							
	みんな協働してできること 行政に期待すること	○						
神社で焚火をしている人がいて困る	一人ですること							
	みんな協働してできること 行政に期待すること						○	○
猪が出て困る	一人ですること							
	みんな協働してできること 行政に期待すること						○	

3. 北茨城市地域福祉活動計画策定委員会設置規程

(目的及び設置)

第1条 北茨城市における住民主体の地域福祉の推進及び、それにともなう社会福祉法人北茨城市社会福祉協議会（以下「本会」という。）の充実、強化を図るための地域福祉活動計画（以下「活動計画」という。）を策定することを目的として、本会に地域福祉活動計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、活動計画の策定に関する必要事項を審議する。

(組 織)

第3条 策定委員会は、次の掲げる者のうちから15名以内をもって組織し、会長がこれを委嘱する。

- (1) 地域住民組織代表者
- (2) 社会福祉事業関係者
- (3) 社会福祉に関する活動を行う者
- (4) 学識経験者
- (5) 社会福祉協議会役職員
- (6) その他、会長が必要と認める者

(任 期)

第4条 策定委員の任期は、所掌事項が終了するまでとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 策定委員会には、委員長1名、副委員長1名をおく。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。
- 3 委員長は、委員会を代表するほか、策定委員会の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(策定委員会)

第6条 策定委員会は、委員長が招集する。ただし、第1回の策定委員会については会長が招集する。

- 2 策定委員会は、委員の半数以上の出席がなければ開催することができない。
- 3 策定委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(専門委員会)

第7条 委員長は、活動計画の充実を図るため、専門委員会を設置することができる。

- 2 専門委員会について、必要な事項は別に定める。

(守秘義務)

第8条 委員は、業務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(事 務 局)

第9条 策定委員会の庶務は、本会事務局において処理する。

(そ の 他)

第10条 この規程に定めるもののほか、策定委員会に必要な事項は、委員長が策定委員会に諮り、その都度定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

4. 北茨城市地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

No.	団体名等	役職名	氏名	備考
1	大津町ご近所声かけ隊	隊長	村田 章	地域住民組織代表者
2	グループホーム アーシャ	代表	鈴木 胖	障がい者支援活動者
3	社会福祉法人ときわの杜	事務長	鷲 博明	
4	連合民生委員児童委員協議会	副会長	鈴木 正義	
5	ボランティアグループ連絡会	相談役	久保田三枝子	
6	学校長会	会長	村田 俊美	
7	茨城大学	准教授	長谷川幸介	学識経験者
8	C・I・S研究所	代表	外岡 仁	学識経験者
9	社会福祉協議会	前事務局長	圓谷 洋一	その他会長が必要と認める者
10	北茨城市	社会福祉課長	滝 武峰	平成22.3.31まで
11			関根 忠	平成22.4.1から
12		高齢福祉課長	瀬谷 直人	平成22.3.31まで
13			岸 秀明	平成22.4.1から
14	社会福祉協議会	副会長	山田 光雄	委員長
15		理事	松本健一郎	
16			菊地 孝徳	
17			松崎 松恵	副委員長

※平成21年8月20日設置 役職名は設置当初のもの